

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、27～30℃台を示し、やや高め～かなり高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり3kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり86kgの水揚げで、前週の41%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり59kgの水揚げで、前週の69%（前年並み）。壱岐勝本地区では1日当たり1.3トンの水揚げで、前週の40%（前年を下った）。五島奈留地区では、1日1統当たり23kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- 定置網――対馬西岸地区では、ハガツオなどが1日1統当たり102kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり339kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり82kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり14kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/25～7/31の7日間）沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆周辺より山口沖に移動。赤イカは北太平洋で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）2日延5隻、総計274箱、1航海最高45箱、平均54.8箱。スルメイカ（20～30入）58箱、ケンサキイカ（2～4立）216箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第5-13号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>